平成 27 年度　研究成果報告書

Research Achievement Report FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア言語文化研究部門 I
氏名　Name	酒井裕美
専門分野 Academic Field	朝鮮史学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	

開港期朝鮮が展開した外交を実態に基づいて明らかにする作業の一環として、本年度は当初日朝間の漁業問題を取りあげる計画であったが、準備を進める過程で、日本との間で 1883 年に締結された「日朝通商章程」に漁業条款が挿入される前提として、清との間で 1882 年に締結された「朝清商民水陸貿易章程」における漁業規定の詳細について分析する必要であると判断したため、この問題についての史料調査・精読を行った。その結果は、2015 年 6 月に開催された東アジア近代史学会大会（シンポジウムテーマ :「冊封・朝貢」体制再考―近代東アジアの国際秩序をめぐる外交と言説）において発表し、この内容を発展した論文「開港期朝鮮の沿海漁業をめぐる外交政策―朝清商民水陸貿易章程第三条をてがかりに」を執筆した。(『東アジア近代史』第 20 号、2016 年 6 月に掲載)

また本年度は、大阪大学教員出版支援制度の助成を受け、これまでの研究をまとめた『開港期朝鮮の戦略的外交　１８８２－１８８４』を出版した（大阪大学出版会、2016 年 3 月)。これまで発表してきた論文が基となっているが、出版に当たり大幅な加筆・修正を行った。その過程で得られた調査結果は、今後の漁業問題研究にも役立てて行ける見通しである。